広報 第206号

おおあらい

発行　平成元年2月1日
発行所　大洗町役場
〒311-13茨城県東茨城郡大洗町磯浜町6881-275
☎大洗(67)5111㈹
編集　広報公聴室
印刷　冨士オフセット印刷㈱
☎水戸(31)4241㈹
（題字：大久保景明先生書）

平和なる時代を築け新成人

大洗町の新成人は291名

新しい時代「平成」を迎えたばかりの1月15日(日)。大洗文化センターで成人式が挙行されました。

本年の成人式対象者（住民票が当町にある者）は、291名。このうち式典には228名（男114名・女114名）が出席、紅白の幕を自粛した他は全て例年どおりの成人式でした。

9時30分から受付が始まりましたが、地味なスーツの男性に比べ、主役はやはり女性陣。華やかな振袖を着飾って「キャーしばらくゥ」と大はしゃぎ。気分はほとんど同窓会？でした。

式典には、小幡五朗県議会議員や町長、和田町議会議長はじめ議員諸氏や中学卒業時の先生方など、多数の来賓者が列席しました。

竹内町長はあいさつの中で、「皆さんは、平成の初成人として注目され、期待を背負うことになります。昭和は、激動の時代でした。皆さんのご両親は、言い知れぬご苦労を重ねてきたわけですが、そのご両親への感謝の気持を忘れず、国家や大洗町に無くてはならない人材となるよう精進して下さい」と激励の言葉を述べました。厳粛であるべき成人式ですが、来賓祝辞の間も一部参加者の雑談は絶えず、国家斉唱や町民憲章の朗読のための起立にも不満の声が。

新成人の皆さん、大人には〝モラル〟と〝辛抱〟が要求されます。

多くの権利と一緒に、義務もプレゼントされたことをお忘れなく。

新成人にアンケート

◇若者の意識を探る◇

総じて健全・みんなシッカリしています

広報「おおあらい」では、町内の新成人120名にアンケートを送付して40人から回答をいただきました。回収率は不満でしたが、これは全体（291名）の13・7％に当ります。この結果が、20歳全体の意識を表しているとは限りませんが、一つの切り口であることには間違いありません。（男17名・女23名複数回答や記入洩れがあるため、必ずしも数字の合計は40名・100％になりません）

女性の一番関心事は「オシャレ」

Q一番興味を持っていることは？

男性は車4　異性4　スポーツ3　仕事2と分かれたが、女性はオシャレが13と2位の車4を大きく離してダントツ。男性は個性の多様化が目立ち、女性は美しくなることが個性の表現か。

仕事はカネとやりがいさ！

Q職業を選ぶ基準は？

収入14　やりがい11　将来性7がベスト3。カッコ良さとか会社の大きさはそれぞれ1名ずつ。前向きの姿勢が感じられる。

親のスネは、まだまだカジリたい

Qあなたにとって一番大切な人は？

親18　友人16　恋人4と、親が僅か2票ながら面目を保った。

女性回答で、その他2とあったが、まさか既婚者では……。

Qあなたは大人だと思いますか？

大人と思う8に対し、子供だと思うが28と圧倒的に多い。実感が湧かないのが現実だろう。

理由は、「親の世話になっているから」が多かった。

恋人と結婚相手の違い

Q恋人・結婚相手を選ぶときの基準は？（結果は下記グラフ）

いずれも「優しさ」がトップにくるが、結婚となると女性は「亭主丈夫で玉のコシ」を、男性は「健やかな美人」を狙う。これは、いつの世も同じこと。男性回答に「女らしさ」が目立つのは、わかるような気がする。男性回答に「職業」とあるのは、〝共働き〟を考えてか。シッカリしてます。

ハタチの天皇観

Q天皇陛下崩御を聞いて、どう思ったか？

特別な感情はない17と、新時代への期待の方が大きい9を合わせた26に対し、悲しいと答えたのは13。ダブルスコアも昭和43年生まれでは仕方ない。

以外に強い郷土愛

Q今後とも大洗町に住みたいか？

住みたくない4を、住みたい33と条件つき4が大きく上回った。

行政についての関心

Q成人式をどう思うか？

良い33　必要なし5　やり方に問題あり2。成人式担当の教育委員会はひと安心か。

Q今度の選挙には投票に行くか？

行く31　行かない7と、これまた選挙管理委員会がひと安心。

Q町が進めている計画や構想のうち、知っているのは何ですか？

マリーナ15　北関東自動車道路11　人工島（コースタルリゾート計画）10　ショッピングセンター7　涸沼駅周辺開発4　ゴミ焼却場新設4の順番でしたが、この夏にアジアアマレス大会を控え、工事を急ぐ総合体育館建設を知っていたのは僅か1名でした。PR不足。

賛否両論の原子力開発

Q原子力開発についての考えは？

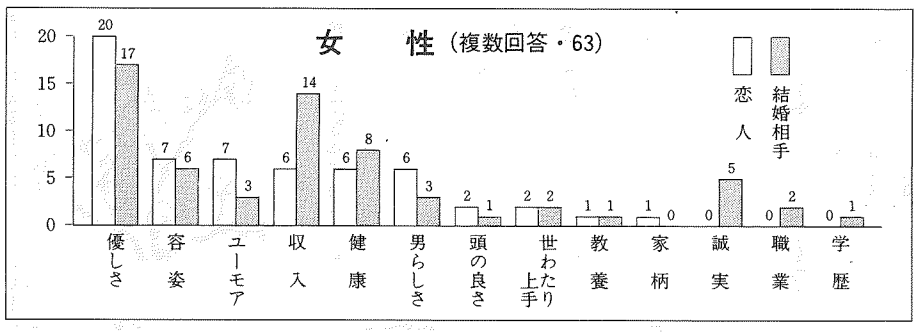
積極的に開発すべき8と、どちらかといえば開発すべき11が賛成派とすると、反対派の開発しない方が良い19と均衡している。

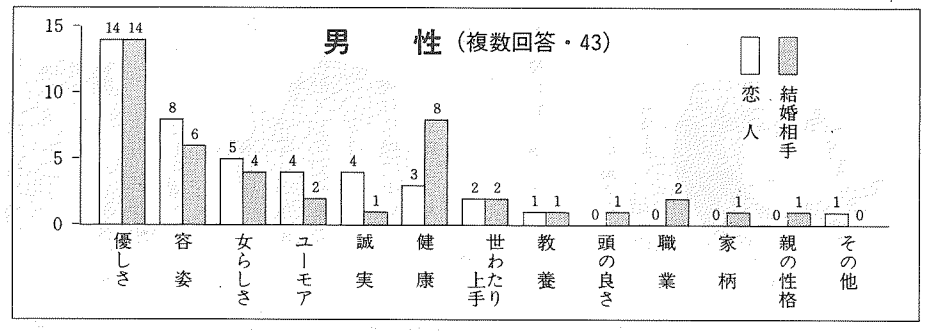
町民憲章に〝原子の火〟をうたう当町だけに、慎重に受け止めたい。

Q日本は良い国だと思いますか？

良い11　まあまあと思う25が大勢を占め、そうは思えない4は少数意見となっている。

〝飽食の時代〟まっただ中の青春。当然かも知れない。





大洗町告示第41号

地方自治法第243条の３第1項及び大洗町財政状況の作成及び公表に関する条例により、わたくしたちの町の財政状況（昭和63年４月１日から９月30日）を次のとおり公表します。

昭和63年12月26日

大洗町長　竹内　宏

大洗町の財政状況

―昭和63年度上期―

予算額…5,055,588千円　**収入済額…2,043,498千円（収入率…40.4%）**　**執行済額…2,041,006千円（執行率…40.4%）**

●一般会計予算執行状況

（歳　入）　（単位：千円，%）

区分	現計予算額	繰越事業費等繰越額充当財源	計	収入済額	収入率
1．町税	2,239,381		2,239,381	1,301,918	58.1
2．地方譲与税	34,351		34,351	9,484	27.6
3．利子割交付金	13,320		13,320	1,225	9.2
4．娯楽施設利用税交付金	44,000		44,000	16,876	38.4
5．自動車取得税交付金	24,723		24,723	14,031	56.8
6．地方交付税	396,520		396,520	300,776	75.9
7．交通安全対策特別交付金	5,558		5,558	0	0
8．分担金及び負担金	80,814		80,814	31,365	38.8
9．使用料及び手数料	154,088		154,088	78,082	50.7
10．国庫支出金	156,961	43,220	200,181	30,356	15.2
11．県支出金	180,816		180,816	33,553	18.6
12．財産収入	288,684		288,684	40,951	14.2
13．寄附金	15,261		15,261	10,261	67.2
14．繰入金	270,000		270,000	0	0
15．繰越金	118,149	38,080	156,229	156,229	100.0
16．諸収入	234,962		234,962	18,391	7.8
17．町債	710,000	6,700	716,700	0	0
歳入合計	4,967,588	88,000	5,055,588	2,043,498	40.4

（昭和63年９月30日現在）

（歳　出）　（単位：千円，%）

区分	現計予算額	繰越事業費等繰越額	予備費支出額等	計	支出済額	執行率
1．議会費	98,734			98,734	47,292	47.9
2．総務費	903,448		1	903,449	722,652	80.0
3．民生費	551,177			551,177	207,042	37.6
4．衛生費	348,412			348,412	166,321	47.7
5．労働費	138			138	0	0
6．農林水産業費	162,649			162,649	78,815	48.5
7．商工費	128,014			128,014	42,116	32.9
8．土木費	1,679,979	88,000	4	1,767,983	346,565	19.6
9．消防費	197,151		1	197,152	75,278	38.2
10．教育費	321,425		508	321,933	147,115	45.7
11．災害復旧費	1			1	0	0
12．公債費	463,211			463,211	207,810	44.9
13．諸支出金	45,037			45,037	0	0
14．予備費	68,212		△514	67,698	0	0
歳出合計	4,967,588	88,000	0	5,055,588	2,041,006	40.4

（昭和63年９月30日現在）

（性質別）　（単位：千円）

区分	現計予算額
人件費	1,579,507
物件費	366,406
維持補修費	19,376
扶助費	195,388
補助費等	296,894
普通建設事業費	1,831,894
(1) 補助	66,500
(2) 単独	1,765,394
災害復旧事業費	1
公債費	463,061
積立金	17,596
投資及び出資金	3,208
貸付金	8,480
繰出金	117,565
予備費	68,212
合計	4,967,588

（昭和63年９月30日現在）

●一般会計町有財産の状況

（昭和63年９月30日現在）

- ●土地……2,053,568.58㎡
  - 1．行政財産……433,048.26㎡
  - 2．普通財産……1,620,520.32㎡
- ●建物……56,428.59㎡
  - 1．行政財産……56,008.90㎡
  - 2．普通財産……419.69㎡
- ●有価証券・基金……487,395千円
  - 1．有価証券……67,609千円
  - 2．基　金……419,786千円

●一般会計地方債現在高

（単位：千円，%）

区分	元金未償還額	構成比
総務債	272,379	6.4
土木債	3,092,670	72.8
教育債	234,696	5.5
公営住宅債	469,648	11.1
保健衛生債	25,548	0.6
消防債	41,850	1.0
民生債	58,900	1.4
農林水産業債	33,701	0.8
災害復旧事業債	4,100	0.1
特例債	13,800	0.3
合計	4,247,292	100.0

（昭和63年９月30日現在）

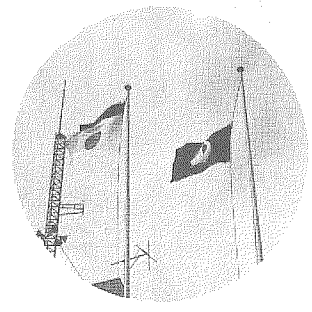
●特別会計歳入歳出予算執行状況

（単位：千円，%）

会計名			現計予算額	執行額 歳入 収入済額	歳入 収入率	歳出 支出済額	歳出 執行率
国民健康保険特別会計			1,429,290	625,491	43.8	541,481	37.9
老人保健特別会計			1,068,415	442,288	41.4	448,676	42.0
水道事業会計	収益的		349,223	177,367	50.8	123,294	35.3
	資本的	(収入)	56,020	7,182	12.8		
		(支出)	152,172			44,309	29.1
地方卸売市場冷凍冷蔵事業特別会計	収益的	(収入)	56,257	27,431	48.8		
		(支出)	52,408			23,752	45.3
	資本的		3,849			1,913	49.7
桜道土地区画整理事業特別会計			226,666	1,860	0.8	45,178	20.0
サイクリングターミナル事業特別会計			16,152	9,804	60.7	7,349	45.5
公共下水道事業特別会計			144,731	0	0	3,056	2.1

※収入が支出に不足する額は、一般会計からの運用で充当しています。　（昭和63年９月30日現在）

大行天皇の弔問記帳所設置さる



役場庁舎に掲げた半旗も悲しげ

1月7日の天皇崩御は、予測されていたといえ、昭和を生きてきた人々（特に戦争体験者）には、衝撃的なできごとでした。

町では哀悼の意を表すため、翌8日正午から役場正面入口に御記帳所を設けました。白菊の飾られた記帳所には、無線広報で知ったと言うご夫婦などが訪れ、12日迄の5日間に記帳された方は、合計1、081人に達しました。

なお、この御記帳簿は、1月12日に宮内庁あてに送付されました。

昭和49年10月21日に動燃を視察になられた大行天皇と皇太后さま。

おおあらい　俳壇

後藤亀泉　選

極月の言葉短かく交し行く
明神町　白田一郎

〔評〕一年の最後の月、年も極まったとの意で極月。師走の別称もあるが極月と言われた方が思いも深い。吾、人共に忙しく、ふと街角で行き会って交す言葉も二夕言三言の短かさである。

街いくつ越え来し宿の牡丹鍋
髭釜　川崎京子

〔評〕大洗に鮟鱇鍋があるように、桂・七会村辺りは猪鍋が名物である。牡丹鍋とも言う。共に冬の味覚の双璧であろう。いくつか街を通り過ぎてやっと辿りついた宿の牡丹鍋は初め多少の無気味さはあったものの聞きしに勝るうまさである。窓外の背山に猪の息吹きも聞えるようである。

暮早し女ばかりの集りに
桜道　真田静子

〔評〕女ばかりの集会である。賑やかに談笑して時のたつのを忘れる。それでなくとも早い冬の日暮れである。

育みて今日の日和や七五三
新町　山口清三

〔評〕愛し子をはぐくみ育て無事七五三を迎えることが出来た。それにしても何と素晴しい今日のお日和か。天の祝福である。

舟を出し女ばかりの磯焚火
明神町　小松崎藤吉

〔評〕焚火と女達を波止場に残し、男達は冬の荒海に出漁した。女達はくべ足した焚火を囲んで一しきり世間話の花を咲かせるのである。

綿入の漁師闊歩す波止の昼
髭釜　川崎よし允

〔評〕綿入を着流した漁師が昼の波止場を悠々と歩いている。冬日が燦々と当って布子の綿も更にふくらむようである。

海の音遠くにありぬ小六月
東光台　大川たか

〔評〕冬に入ったと言うのにこの暖かさは春のようである。今日ばかりは海の音も遠くの方から聞えてくるようである。

よき年を願ひて除夜の鐘をつく
祝町　今川うめ

〔評〕陛下の御恙をはじめとして多事であった今年。来年こそよき年であれと祈りつつ除夜の鐘を撞く。

靴の音聞えはじめし除夜の鐘
祝町　今川晟

日溜りになほも色濃き歸り花
明神町　小松崎美代

凩のひときは高し更くる夜は
新町　加藤宗一

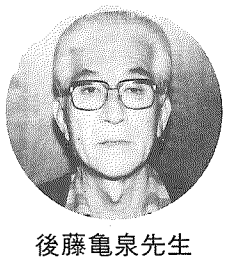
北国へ航く船の灯や寒きびし
夏海　大貫千代子

柿一つ残りし枝に小鳥くる
新町　岸和田和子

北風に追はるるごとく野道ゆく
東光台　泉きよ

藁屋根の軒下深く吊し柿
髭釜　稲田富穂

広き野に一羽の鶴として孤独
明神町　田中勝枝



後藤亀泉先生

子供たちはサンタさんが大好き

12月23日は、第1保育所の園児が待ちに待ったクリスマスの日でした。部屋を暗くしてローソクを灯し、丸テーブルを囲んだ子供たちは目の前に並んだおいしそうなケーキ（年長組園児のお手製）やチキンにもなぜか興味なさげ。

そう、サンタクロースが現われるのを、今か今かと待っていたのです。

まもなくカーテンが開き、おなじみの大きな袋に赤いマント、ヒゲのサンタさんが現われると、ワッと歓声が上がりもう大騒ぎ、運良くプレゼントを手渡された子は、感激で声もない様子でした。

このサンタクロースに扮したのは、地元の高齢者クラブ「明寿会」会長の高橋兼吉さん（80歳）で、自前の白髪はサンタさんにピッタリ。

第1保育所では、園児とお年寄りの皆さんとの「ふれあいを深めよう」と、所内の行事にお年寄りを招待してきましたが、今回のサンタ訪問は言わばそのお返し。

高齢にもかかわらず、一生懸命サンタクロースを演ずる高橋さんと、実在を信じ、目を輝かせている子供たち。その光景に純粋なものを感じたのでしょうか、目頭を押さえる職員も多く、心温まる一時でした。

人

柔道9段に昇段した鈴木鳥松さん（80歳）

柔道の段位は、何段まであるかご存じでしょうか。実は、10段がただ一人（小谷澄之元講道館師範）いるのですが、これは特例。今では9段が最高位となっています。

鈴木さんは、福島県の出身で、昭和9年警視庁に奉職以来、一貫して柔道師範として警察官の指導にあたってきました。

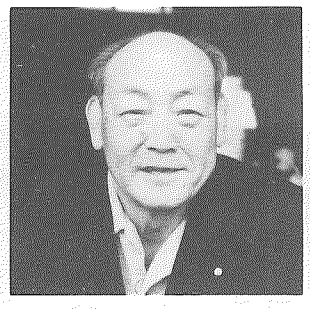
昭和27年に茨城県警の柔道師範として招かれ、縁あって大洗町の住民となったものです。

44年に退職され、接骨院を開業後も柔道の振興に傾注し、現在でも関東柔道連合会会長や日本柔道連盟の理事をなさっています。

昨年4月は講道館の創設者、嘉納治五郎の没後50年に当たり、今までの功績を認められ、県内で初めてという9段昇進（現在全国で25名）を果たされました。

特筆すべきは鈴木さんの〝若さ〟です。背筋が伸び、ガッチリとした身体（169cm・80kg）。明瞭な記憶と大きな声。誰が見てもまず明治42年の生まれとは思えないでしょう。

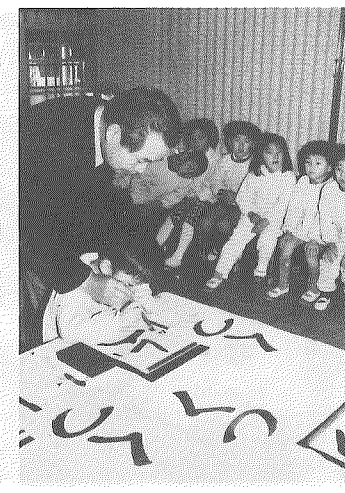
秘訣は？と聞くと、「摂生とトレーニングが大切。3年前に家内に先立たれてから、病気になると困るので、余計摂生するようになった」との答。3人の息子さん（長男は警視庁）はそれぞれ独立し、一人暮しですが、娘さんが近くに嫁いでいるので、何かと面倒を見てくれるとのこと。



一番の楽しみは、柔道に励む子供たちの、稽古相手になることだそうです。（永町16区の1）

ユニーク！ チビッコに書道指導

最近、結婚式などの受付は、ほとんどサインペン。そんな中で毛筆を選び、サラサラと記帳する人を見ると、ワケもなく尊敬してしまいます。



滝口保育園では、昨年の12月から清水正之副園長（雅号＊西風）の指導のもと、保育園ではユニークな「お習字」の時間を始めました。

年長組（5～6歳）の園児25名を3クラスに分け、週に1・2回行なう予定だそうです。

12月23日、〝スミをいたずらして大騒ぎ〟を予想して取材にいきましたが、子供たちは真剣そのもの。〝張り詰めた空気〟さえ感じました。この日の題は「くつ」。園児は、小さな手で筆を握り、邪心のない見事な書をしたためていました。

子供たちに「お習字はどう？」と聞くと、「好きで～す」「おもしろ～い」「お母さんに誉められた」などと元気な声が返ってきました。

清水先生談「日本伝統の毛筆の基本を、小さなうちから正しく教えたい。小学校に入っても興味を持ちつづけてくれたらと思う。父兄の皆さんにも好評なんです。」

いまや毛筆ができることは、〝特技〟。皆さんも、子供たちに負けずに習字を始めてはいかがでしょう。冠婚葬祭の受付で、〝大きな顔〟ができるのは請け合いですヨ。

国民年金の保険料が変わります
七、七〇〇円 ➡ 八、〇〇〇円
（元年三月まで）（元年四月から）

国民年金の保険料が四月から一カ月八、〇〇〇円に変わります。

国民年金は、生活水準の変化、物価の上昇に応じて年金額を増額し、生活の安定を図る仕組みになっています。そして、その年金給付に要する費用は、加入者の皆さん保険料と国の負担等で賄われているのです。

「人生八〇年」の時代を迎え、人口の高齢化が進む中で、年金制度を健全に運営していくためには、年金の給付と保険料の負担のバランスが保たれることが必要です。

このため、保険料の額も毎年段階的に引き上げられることになっています。安定した制度の運営と世代間の公平を図るため、また、誰もが老後を幸せにおくれるよう、保険料額の改定にご理解とご協力をお願いします。

なお、付加保険料を納めている方は、月額八、四〇〇円（定額八、〇〇〇円＋付加四〇〇円）となります。

なお、生活が苦しくてどうしても保険料が納められない場合、保険料の免除制度もありますので、役場年金係でご相談ください。

出初め式 粛々と行なわる

1月7日(土)の午前8時。出初め式のサイレンが町内に響きわたりました。折から、テレビは天皇陛下崩御のニュース。そのために、カン違いされた方もいるかもしれません。

出初め式は、10時から大洗港第三埠頭で行なわれましたが、弔慰を表わすため半旗を掲揚し、予定していた放水試験と分列行進は中止するなど、かってない静かなものとなりました。

開式を前に、全員で黙とうを捧げた後あいさつに立った竹内町長も、例年の力強いあいさつを避け、「大行天皇のご冥福を、皆さんとともに祈りたい。」と、言葉少なでした。

表彰式では、県知事表彰として谷田部吉蔵団長が、40年以上勤続功労章を受けたほか、多数の消防団員が表彰されましたが、いま一つ盛り上がらなかったのは、いた仕方ありませんでした。

「巳年は波乱の年」と言われます。しかし、昨年の消防ポンプ操法郡大会で優勝した当町消防団の実績を持ってすれば、まずは安心。火災や災害のない、穏やかな年であることを祈ります。

中学生の「税に関する作文と標語」コンクール
南中から4名が入賞

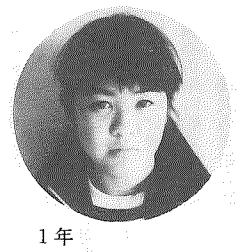
税制改正論議がはなやかな昨今ですが、関東信越国税局では、『税を知る週間』（11月11日～17日）にちなんで、「税に関する作文と標語」コンクールを行ないました。

これは中学生を対象に、作文や標語づくりを通じ、納税の意義や使いみちへの理解を今のうちから深めてもらおうと、毎年行なわれているものです。

本年度は南中から4名もの入賞者がでましたので、その作品を紹介します。（敬称略）

【標　語】

◇水戸税務署長賞
「税金は国民みんなの　あいことば」



1年
鴨志田雅子さん

【作　文】

◇水戸地区納税貯蓄組合長賞
「税金」について
南中二年　戸塚由紀江

私達、子供はまだ税金を実際にはらったことはありません。だから税金というと、

「私達には関係ない」

「大人がはらっているのだから…。」

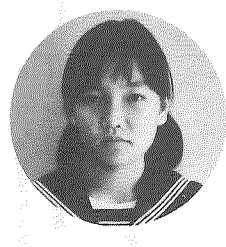
と、つい無関心になってしまいます。しかしそれは、大きなまちがいでした。

私達のすぐ身近にある公共物、例えば、学校、道路や橋、公園などがそうです。これらはみんな、国や地方公共団体で集められた税金によって作られたものです。これらはみんな、なくてはならないものなのです。勉強するのに学校がなくてはできない。車が走るのだってガタガタした道よりきちんと舗装された道の方がよい。最近では高速道路ができていてとても遠くに行くのに便利である。橋は瀬戸大橋など、陸と陸をつなぐ大切な交通手段である。といったように、とても大切な役目をもったものばかりなのです。

税金はそういった建設物ばかりに利用されているわけではありません。みんなを守るための、警察や消防、病院といろいろなことに役立ってきています。そのほかにも、私達公立学校の児童や生徒は、一人当たり小学生で四十八万二千円、中学生で五十七万八千円、高校生で六十万六千円を、国や地方公共団体が負担しているそうです。よく考えてみると、私達中学生の場合、教科書は全部、国が負担しているのだなあと思い出しました。

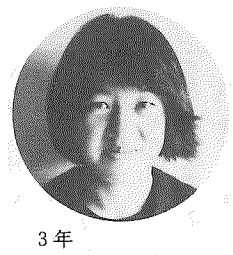
税金は、個人の事業ではできないこと、国民一人一人が、できるだけよいかんきょうの中で生活できるような場所などを、私たち国民一人一人が選んだ、代表者によって、何に、どれくらいつかうかきめてもらうのです。それには国民がはらう税金がなければいけません。こうしたことに、税金は使われていき、その他は、国債の償還などに無だなく使われていくのです。

こうして、私たちのまわりに、いろいろな所で税金は役立っているのです。



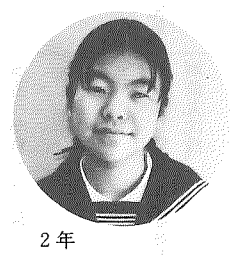
戸塚由紀江さん

◇水戸国税モニター賞（個人賞）
「納税はみんなの義務です　忘れずに」



3年
田山友紀子さん

◇大洗町長賞
「進んで納税　よりよい社会」



2年
小野瀬貴子さん

大洗の昭和史

昭和が幕を閉じました。この時代最大の過ちは、なんといっても戦争でした。国全体が大きく揺れ動き、小さな集落であったこの地方も例外ではありませんでした。

水浜電車で出征兵士を送り出し、その多くは骨のカケラも無い遺骨?となって帰ってきました。（戦死者725名）

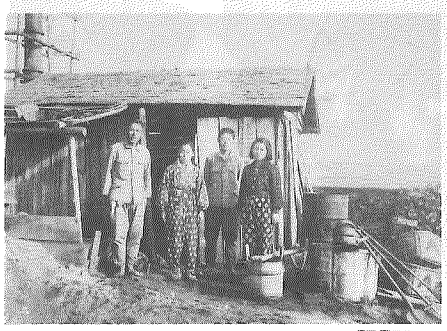
そして敗戦後の混乱期。食糧難に耐え、歯を喰いしばって生きてきた先達の労苦が実り、驚異の復興から先進国へ。今や日本は、世界最大の開発援助国です。

時を同じくして、私たちの町も農漁村から港湾と観光の町へ、貧困から発展へと変貌してきました。

昭和とは何だったのでしょうか。遠い異国で散った若者は、死が近づくとき、鹿島灘の青や涸沼川の流れ、大貫台地の緑を思い浮かべたでしょうか……。

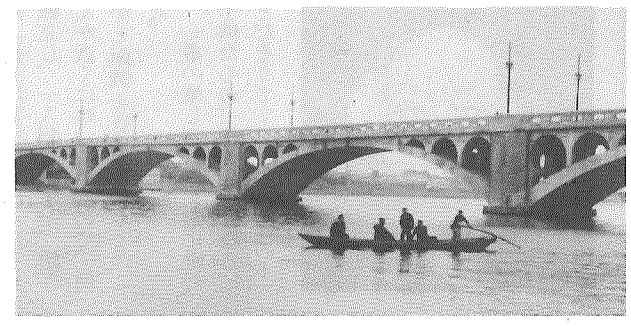
大行天皇の崩御後、テレビ各社はこぞって「昭和史」の特番を流しました。ご覧になった町民各位も、懐かしい画面を自分の人生と重ね合わせ、感慨にふけったのではないでしょうか。

広報「おおあらい」では、私たちの町における昭和史を写真で振り返ってみました。



▲昭和21年10月撮影。大貫海岸の塩タキ小屋。原始的な方法で塩をつくり、物々交換した。（茂木清文氏蔵）

▲昭和16年10月。慰問袋の発送。この2ヶ月後に真珠湾攻撃。



▶昭和5年完成のコンクリートの海門橋。昭和13年に流失。再架橋には21年間の長きを要した。（川上俊彦氏蔵）

▶昭和25年頃。観光キャラバン隊が〝磯節〟で大洗をＰＲ。鬼怒川で。

終戦の思い出

茂木清文

昭和二十年八月十五日、香取基地上空に、多少の雲はあったが、この日はどういうわけか敵機や友軍機の爆音が殆んど聞かれず、基地は不気味なくらい静まりかえっていた。

当時私は海軍砲術科の下士官として、基地防衛を任務とする分隊に所属していた。そして空襲のたびに応戦したが、正直なところ敵に与えた損害より、味方の受けた方が、はるかに大きかったのである。理由の一つは弾薬の補給がないことだった。

正午に陛下の重大放送があることは承知していた。然しこれは陛下が、放送を通じて国民の戦意を高揚されるものと期待していた。それが敗戦を意味するものと知らされた途端に、全身から緊張感が消えていくのを感じた。そして大きな屈辱感におそわれた。同時に日本の前途に不安をいだきながらも、生きて家族に再会できるという喜びが、忽然として湧き出てきたのは事実である。

わが部隊の解散は早かった。八月下旬の或る夕刻、バラック建の水戸駅におりた私の目に写ったのは、一面の焼野原だった。已むを得ず他の人達と共に、駅で一夜を明かし、翌朝浜田まで歩いて電車にのり、ようやく新町のわが家までたどりついたのだった。

（町教育委員長）

昭和に生きて

竹内とめ

私は明治45年の生まれで76歳になります。9歳の時父を失い、大正12年には東京大震災。15年に大正天皇の崩御で昭和を迎えました。

昭和に入ってからも、五・一五事件ほか、色々なことを経験して兄（故久保木清）の援助で昭和5年、県立大町高女（現在の水戸二高）を卒業することができました。

物資不足の時代でもあり、学用品も容易に買って貰えない耐乏の学生時代でした。

昭和10年に結婚して、東京での生活となりました。生めよ増やせよの時代。翌年長男（宏）、続いて長女、次男が誕生しました。

世相は、日支事変など物騒になってきて、食糧事情が極度に悪くなってきました。子供たちに食べさせるため、田舎から米・卵などを持ってくる人から仕方なく高く買ったり、物々交換などして大変苦労いたしました。

戦争も日増しに激しくなり、出征兵士が毎日のように送り出され、夫も在郷軍人としてことある毎に出勤していたのですが、体調を崩し東大病院に入院しましたが、良い薬もなく、33歳で急逝しました。

私が30歳で長男宏が6歳の時でした。折から大東亜戦争勃発で東京は騒然となり、3人の子供を抱えて途方に暮れました。結局郷里の磯浜に戻り、8月15日天皇陛下の玉音放送で敗戦を知りました。

戦後は大変でした。子供の教育については、自分の体験から何としてもきちんとした教育を受けさせたいと思い、針仕事などの内職をしながら高校を卒業させました。

当時、長男は学校の先生になりたいと大学受験を希望したのですが、女の細腕ではどうすることもできず、また就職についても適切な判断ができず、この時程夫の亡きことを母子ともに切なく思ったことはありませんでした。

母子家庭の辛さみじめさを、つくづくと体験しましたが、三人の子供が貧乏にめげず、素直に成長してくれたのが唯一の慰めだと思っております。

長男宏が、多くの方のご支援で町会議員に当選した喜びも束の間、翌年10月に当時4歳の孫（宏の次男）が魚市場岸壁で転落死。56年には次男敬が42歳で病死。頼りにしていた長男宏も60年、突然脳血栓で倒れるなど、不幸の連続でした。

幸い宏は、3ヶ月の入院で後遺症はあるものの、病状は回復し、多くの善意の方々のお力添えで町長三選を果たし、町政を続けられますことは、せめてもの救いと感謝しております。

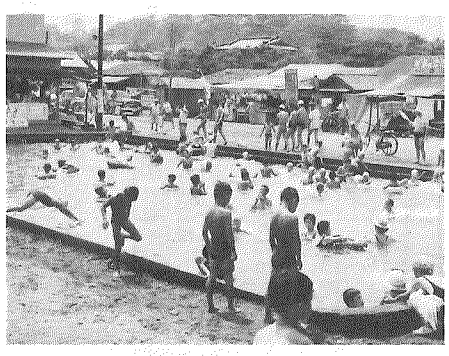
私の昭和史は、ついつい女の「よまいごと」になってしまい、恥ずかしく存じます。

これからのいくらもない人生を、お世話になった多くの方々に心から感謝しながら、穏やかに過ごせたらと願っております。

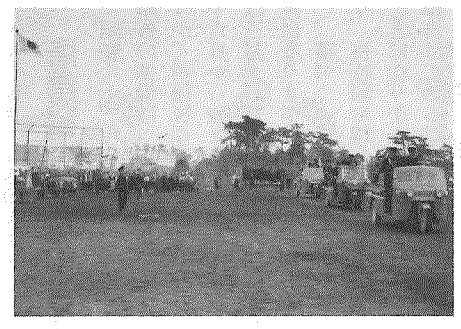
《昭和の年表》

年	事項 大洗町	事項 県内・国内
1	8月、当時の海水浴客1万2千人。	
	9月、2代目の海門橋（明治31年架橋）洪水で破壊される。	
2	12月、水浜電車、祝町まで開通。	
	5月、山村暮鳥の詩碑建立。	普選による初の県議選挙
3	8月～11月、チフス蔓延。	水戸で初のメーデー
4	常陽明治記念館が建設始まる。	11月、陸軍特別大演習
	磯浜尋常小学校に奉安殿設置。	
5	祝町遊廓、廃止となる。	県庁舎竣工
	5月、海門橋が鉄筋コンクリートで架設。	恐慌激化
	那珂川汽船廃止さる。	浜口首相狙撃される。
6	堀割拡張工事。	9月、満州事変起こる。
7	岡崎干拓着工。	血盟団事件
	7月、常陽明治記念館開館。	五・一五事件
8	磯浜・大貫、祝町・湊町の合併問題起こる。	日本、国際連盟を脱退。
10	8月、大貫橋開通。	
11	水産加工業、水産業生産高の50%を越える。	二・二六事件
	11月、保証責任磯浜漁業組合設立。	
12	広浦岡崎干拓完成。	7月、日華事変起こる。
13	大暴風雨にて海門橋破壊さる。	第1次義勇軍渡満。
14	磯浜警防団宣誓式。	農業報國連盟茨城支部発会
15	大洗常会設立。マッチ・みそ・醤油配給制。	日独伊三国同盟締結
16	磯浜町大政翼賛会設立。	日ソ中立条約締結
	漁船徴用始まる。	12月、太平洋戦争開戦
	尋常小学校が、国民学校となる。	
	藤田東湖像除幕式（現磯小に）。	
17	平戸橋竣工。	新聞統制で「茨城新聞」のみ
19	磯浜報國漁業会設立。	歩兵第2連隊玉砕
20	11月、米軍情報部大洗ホテルに進駐。	水戸市空襲。8月、終戦。
21	供出への強権発動に農民運動激化。	天皇陛下各地を巡幸される。
22	磯浜・夏海・大貫に中学校設立。	新憲法施行
	戦後初の町会議員選挙。	9月、キャスリーン台風
24	涸沼川岸に船着場完成。	5月、茨城大学設置
	10月、磯浜漁業組合認可。	9月、キティ台風
25	磯浜伝馬船組合設立。	朝鮮戦争勃発
26	大洗県立公園指定さる。	日米安保条約締結
	磯浜自治体警察廃止。	
27	旧水族館（竜宮城）完成。	警察予備隊が保安隊に改称
28	那珂湊保健所大洗分室開所。	
	8月、磯浜漁業組合設立。	
	9月、大洗ゴルフクラブ完成。	
29	11月、磯浜と大貫が合併して大洗町が発足。	那珂湊、勝田、市制施行。
	12月、初代町長に加藤清氏就任。	洞爺丸沈没。
32	水浜電車、祝町～磯浜間廃止。	
	三漁協合併して大洗漁協設立。	興農政治連盟発足。
33	運輸省、海岸の波浪と漂砂調査開始。	5月、那珂湊沖で漁船200隻
34	7月、21年ぶりに海門橋完成。	

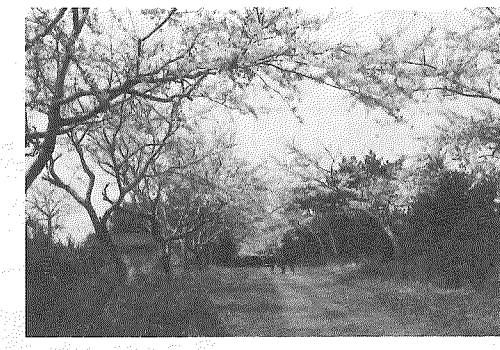
写真でみる



▲昭和36年頃の大貫プール。当時は通称「流れ川」（涸沼川）からの取水であった。プールわきの道路もまだ未舗装。



▲昭和34年頃の消防団出初め式。三輪の消防車が懐かしい。磯小グランドで。

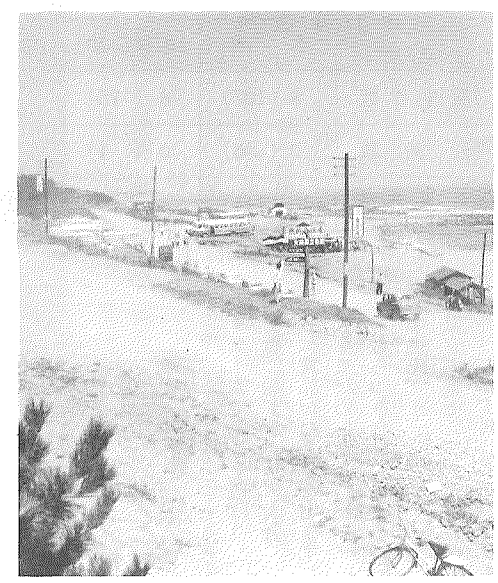


▲昭和30年頃か。願入寺へ向う道路。両側には桜が満開。

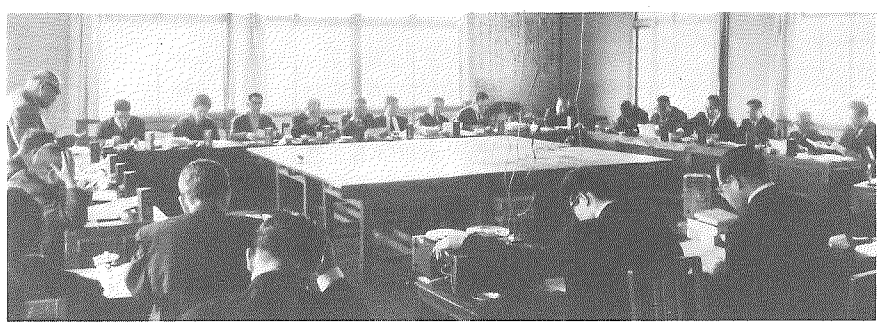
▶昭和26年頃と思われる。大洗海岸で砂利をカイている。地引網で採れた鰯を運ぶのも牛馬が主役であった。（大久保英雄氏蔵）

▶昭和40年3月。大洗港の建設。堤防が伸びてきたが、磯が残っている。（ダイナマイトで爆破）

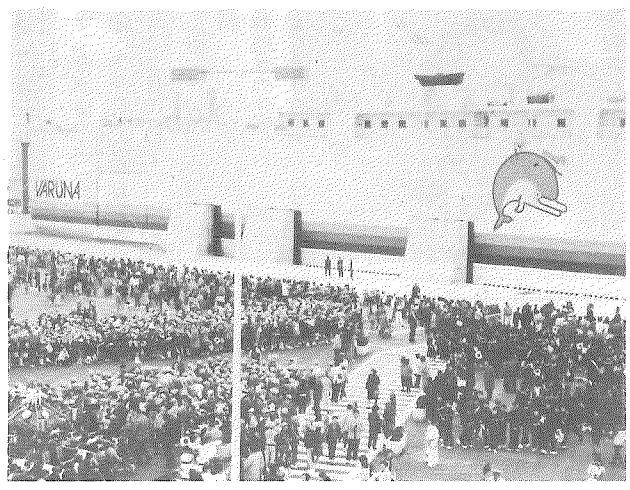
▼昭和37年頃。大貫の消防第6分団付近の舗装工事。



▲昭和28年頃の大洗公園。砂利道に箱型の自動車が走る。



◀昭和44年頃の大洗町役場（現大洗一中下）の議会のようす。
左端で起立しているのは故飯島議員。



▲昭和60年3月。北海道～大洗のカーフェリー就航。その大きさに驚き、埠頭は熱気に包まれた。

▶昭和45年。台風で大貫中宿下付近の防波堤に打ち寄せる波。今の海浜公園は、海の中。

◀昭和53年12月12日。竹内町長（42歳）初登庁。

▼昭和47年9月。関根忍五段ミュンヘンオリンピック柔道中量級に出場。見事金メダルを獲得。町内パレードを行なう。47年10月の広報「おおあらい」に『お母さんただいま』という題でこの写真が掲載された。

35　10月、「放魚祭」で皇太子殿下来町される。
　　南中学校発足。
　　三農協が合併して大洗町農業協同組合設立。
36　7月、県立こどもの家開設。
　　11月、大洗港起工式。
40　4月、日本原子力研究所・大洗研究所起工式。
41　水浜電車廃止。軌道撤去。
42　国鉄鹿島線起工式。
　　4月、夏海バイパス完成。
43　大洗バイパス完成。
　　原研JMTR臨界。原子の火が灯る。
44　11月、大洗水族館オープン。
　　大洗港に魚市場開設。
45　動燃大洗工学センター開所。
46　11月、役場現庁舎完成。
47　大洗町商工会館完成。
　　日本核燃料開発(株)開設。
48　老人憩いの家が完成。
　　県立大洗高等学校開校。
49　大洗港漁港区完成。
50　「本場磯節保存会」発足。
51　農業会館、保健センター完成。
52　町消防本部設置。
　　高速実験炉「常陽」臨界。
53　12月、竹内町長就任。
　　群馬県群馬町と文化友好の調印。
54　大洗港、重要港湾に指定される。
　　海門橋が無料化される。
　　サイクリングターミナル完成。
55　7月、町営プール開設。
　　福祉バス運行開始。町民運動会。
56　大洗水族館新館完成。イルカショー始まる。
　　神山・大貫集落センター完成。
57　6月、文化センター竣工。
　　磯浜海水浴場が「磯浜・大貫海水浴場」に。
58　10月、し尿処理プラント完成。
59　堀割集会所完成。
　　町営テニスコート、オープン。
60　8月、ポート大洗'85フェスティバル開催。
　　カーフェリー就航。
　　大洗鹿島線開通。
61　9月、皇太子殿下、大洗鹿島線で行啓。
　　10月、総合運動公園起工式。
62　青年研修所に替わり、大貫集会所完成。
　　"おおあらい丸"と"ばるな"新造船で就航。
63　永町会館完成。
　　6月、海浜公園オープン。
　　大洗マリンタワー完成。
　　都計道路「夏海大洗線」全線開通。
　　「第8回全国豊かな海づくり大会」開催。
　　が米軍の演習阻止。
　　安保闘争激化
　　6月、常磐線電化
　　朝永博士ノーベル物理学賞
　　県民文化センター竣工
　　高校進学率全国で43位
　　農家人口5割を割る。
　　3月、県民の日を決める。
　　筑波研究学園都市起工式。
　　鹿島港に5万トンタンカー
　　全日空機と自衛隊機の接触
　　墜落（岩手上空）
　　沖縄復帰実現
　　水戸射爆場返還される。
　　石油危機始まる。
　　茨城国体開催。
　　沖縄海洋博覧会
　　天皇陛下全国植樹祭で行幸
　　百里基地の合憲判決
　　（水戸地方裁判所）
　　鹿島から成田へ航空機燃料
　　輸送
　　第2次石油ショック
　　自動車生産台数世界一に
　　常磐高速道路一部開通
　　初の衆参同日選挙
　　ホテルニュージャパン火災
　　日本海中部地震
　　グリコ・森永脅迫事件
　　千円・一万円など新札発行
　　日航ジャンボ機墜落
　　筑波国際科学博覧会
　　県下、台風10号で水害
　　10月、株価大暴落
　　国鉄が分割民営化、JRに
　　リクルート事件発覚。
　　潜水艦「なだしお」と
　　「富士丸」衝突
　　水戸のレストランで赤痢大
　　発生
　　9月、昭和天皇大量吐血。

町県民税の申告受付会場について

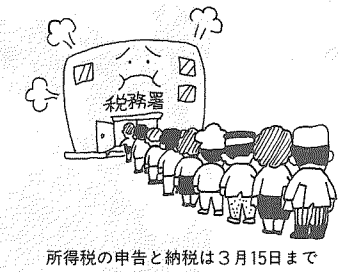
昭和63年度の町県民税の申告時期がまいりました。別表のとおり出張受付を行ないますので、最寄りの会場をご利用下さい。

期日	会場	連絡先
2月16日(木)	消防団第4分団詰所	(67)5978
	東地区集会所	
2月17日(金)	永町会館	
2月20日(月)	大貫集会所	
2月21日(火)	角一集会所	(67)5976
2月21日(火)	神山集落センター	
2月22日(水)	松川集落センター	
2月23日(木)	農業会館	農協(66)2663

※受付時間　午前9時30分～午後4時まで

所得税の確定申告は正しくお早めに

昭和六十三年分の所得税の確定申告の準備は、もうお済みでしょうか。所得税の確定申告は、二月十六日から始まります。申告期限は三月十五日(水)ですが、期限間近になりますと税務署は大変混雑し、落ちついて相談できなかったり、長時間お待ちいただくようなことになりかねませんので、確定申告はできるだけ早めに済ませて下さい。特に最終日の三月十五日は一層の混雑が予想されますので、早期申告に御協力下さい。

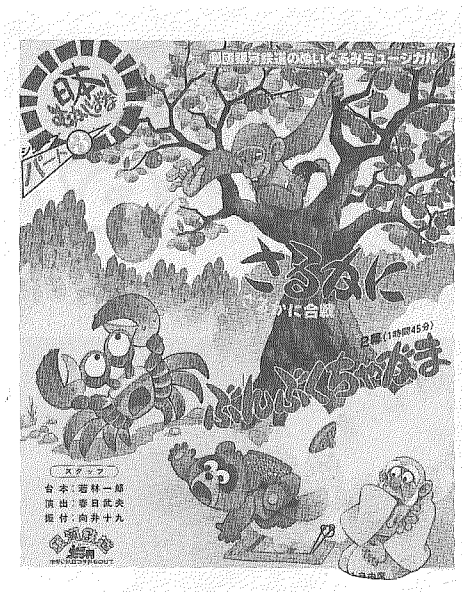


所得税の申告と納税は3月15日まで

確定申告納税相談日程表

期日	会場	担当	時間
2月27日(月)	文化センター会議室	水戸税務署	午前9時～午後4時まで
2月28日(火)	〃	〃	〃
3月1日(水)	〃	〃	〃
3月2日(木)	〃	税理士会水戸支部会員	午前10時～午後3時まで
3月3日(金)	〃	〃	〃

大洗文化センター自主事業



♪ぬいぐるみミュージカル♪

◇期　日　2月25日(土)　二部午後2時(一般)

◇開演時間　一部午前10時(団体)　◇入場料　前売700円・当日券千円

前売券発売＝大洗文化センター他

大洗町における交通事故の発生状況

(63.11月現在)

	本年	前年同期	増減数
発生件数	8 (107)	8 (75)	0 (＋32)
死者数	0 (6)	0 (1)	0 (＋5)
負傷者数	10 (144)	8 (105)	＋2 (＋39)

※(　)内は1月からの累計です。

☆ネアカの小・中学生集まれ！

「こどもの城でおもいっきり遊ぼう会」

○期　日　3月18日(土)午後2時30分から19日(日)午後1時まで(1泊)

○募集人員　50名

○締切日　2月28日(定員になり次第締切ります)

○参加料　1,500円

○対象者　小・中学生(父兄の付添いは不可)

〈内　容〉

・太平洋の日の出を見よう

・ゲームで楽しく遊ぼう

・魚に関するクイズ大会(賞品がたくさん出ます)

・キモだめし大会

・もちつき会

・その他

【申込先】

県立児童センターこどもの城

TEL　66―3044

固定資産税

第4期の納期は2月28日迄です。

家族・グループで参加しよう！

第12回町民オリエンテーリング大会

●期　日　平成元年2月19日(日)

＊雨天の場合は、2月26日(日)に延期(朝7時に無線広報で周知)

●集合場所　大貫小学校校庭

●受付時間　午前8時30分～9時30分

●コース　大貫小～大貫・神山～大貫小(ゴール)

●部　門　小学生(男・女)……4～5km
中学生(男・女)……6km
家族組……4～5km
一般組(高校生以上)……6km

●参加費　無　料(全員に参加賞)

●携行品　赤ボールペン、水筒、汗ふき、時計、弁当、コンパス

〔申込み先・問い合わせ先〕

大洗町教育委員会社会教育係　☎66－2411

大洗文化センター2月分行事予定表

(H1.1.20現在)

開催日	開始時間	催事名	開催場所	催事内容
4日(土) 5日(日)	10：00	第10回磯節全国大会予選会	ホール	磯節全国大会実行委員会主催による磯節全国大会の予選会
14日(火)	9：30	大洗一中・南中合同立志式	ホール	大洗町教育委員会主催による一中・南中合同立志式
21日(火)	9：30	所得税確定申告取りまとめ指導会	大会議室	大洗町青色申告会主催による所得税確定申告指導会
25日(土)	団体 10:00 一般 14:00	ぬいぐるみ劇公演(さるかに合戦 ぶんぶくちゃがま)	ホール	大洗文化センター主催による日本むかしばなしぬいぐるみ劇公演
25日(土)	10：00	大洗漁協第32回通常総会	大会議室	大洗町漁業協同組合主催による第32回通常総会
26日(日)	13：00	県民の集い 中央地区商工青年経営者講演会	大会議室	大洗町商工会青年部主催による県民の集い講演会

※主な催しのみです。詳しくは文化センター☎66－2411へお問合わせ下さい。

金田一春彦講演会

テーマ『日本語のこころ』

▽主　催　大洗町・町教育委員会

▽日　時　3月18日(土)午後2時(1時30分開場)

▽入場料　500円

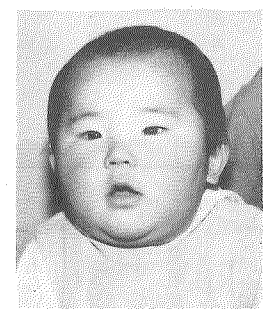
▼入場整理券の発売　2月6日より教育委員会で

☎66―2411

金田一春彦(はるひこ)氏プロフィール

大正2年東京生まれ。東大国文学科卒業。東大講師、上智大教授等を歴任。長年、NHK放送用語委員として放送用語の改善に努め、52年NHK放送文化賞を受賞。学者タレントとしてTVに良く出演。

保健センターだより



髭釜11区

芦川拓也くん

(9ヶ月)

月／日	事業名	対象名	受付時間
2／(木)16	一歳六ヵ月児健診	1歳6ヵ月の誕生に達した者	1時00分 2時00分
2／(火)21	母子保健教室	妊娠6ヵ月～9ヵ月の初産の者	1時30分 3時30分
2／(水)22	母子保健教室	妊娠6ヵ月～9ヵ月の初産の者	10時00分 2時00分
2／(木)23	母子保健教室	妊娠6ヵ月～9ヵ月の初産の者	1時30分 3時30分
3／(木)2	乳児健診	生後2ヵ月～3ヵ月の者 生後6ヵ月～7ヵ月の者	1時00分 2時00分
3／(金)3	麻しん予防接種	生後1歳6ヵ月～6歳未満の者(申込制)	1時15分 2時15分

「機能回復訓練」

午前の部訓練(午前9時～午前11時)

○2月3日(金)　○2月10日(金)

○2月14日(火)　○2月17日(金)

○2月21日(火)　○2月24日(金)

午後の部訓練(午後1時～午後3時)

○2月7日(火)　専門療法士来所訓練場所　大洗町保健センター

訓練対象　障害者で機能回復訓練を必要とする者。

○2月28日(火)　○3月3日(金)

期　日　平成元年2月13日(月)

時　間　午後1時～午後3時30分

場　所　大洗町保健センター

「愛の献血」にご協力下さい

私たちは、今健康でも、いつどのような病気にかかるか、どのような事故に遭うかわかりません。その時、必要とされるのは献血による血液です。

最近、医学の進歩に伴う血液の需要増で、輸血用血液が不足しております。町ではこの度、下記により「愛の献血」を実施しますので、ご協力をお願いいたします。

献血のできる人

年齢(16歳～64歳)、体重(男子45kg以上・女子40kg以上)、献血間隔(一ヵ月以上)、その他当日の血液の比重、血圧及び体調が良好な者。

町の人口と世帯

(1月1日現在)

人口	21,278人(△26)	出生12人
男	10,495人(△12)	死亡24人
女	10,783人(△14)	転入37人
世帯数	6,169戸(△2)	転出51人

＊(　)内は前月比

【編集後記】

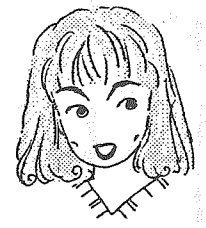
☆新成人へのアンケートの中で、広報紙「おおあらい」は読んでますか？との質問をしました。

結果は、全部読むが4名。ざっと見出しだけが18名。ほとんど見ないが18名でした。何はともあれ「読む」との答えが5割以上。

対象が20歳だけに、意外(失礼)でした。今後は、ヤングも念頭において編集をしなければ……。

また、この割合は年齢に比例するはず。改めて責任の重さを痛感した次第です。　広報公聴室T生

オギハラ保健婦のなるほど・ザ・健康



―「姿勢」を考える―

一年のうちで最も寒い二月を迎えました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。

人それぞれ季節の好みはあるでしょうが、この時期、コタツにぴったりと貼り付いている自分の姿、思いあたりませんか？。

このやや猫背ぎみの姿勢を長く続けていることは、足腰が衰えるのは勿論、腰痛や頭痛などの原因にもなります。今回は、健康にも大いに関係のある「姿勢」を考えてみましょう。

いざ自分は？と意識すると、背筋がしゃんとしてしまい、これなら大丈夫と安心してしまうので、周りを見わたして下さい。前かがみの人の多いこと。悪い姿勢の特徴を挙げてみますのでチェックしてみましょう。

◆肩・手が体の前側にくる(胸を張ってない証拠)

◆お腹が前に出る(逆にお尻は突き上げられ、腰に負担がかかる)

◆ヒザが曲がる

どうでしょう、家族でチェックし合うと、よりハッキリわかるかも知れません。

では、良い姿勢はと言いますと、これは自分自身で常に意識して続けないと身につきません。

①背筋を伸ばす。

②お腹に力を入れ、締める。

③お尻の両側に力を入れる。

④あごを引き、頭の上から引っ張られるように首筋を伸ばす。

これらに、一日一回の体をほぐすラジオ体操でもプラスすれば、運動不足からくる万年腰痛・肩コリと、サヨナラできるかも知れません。